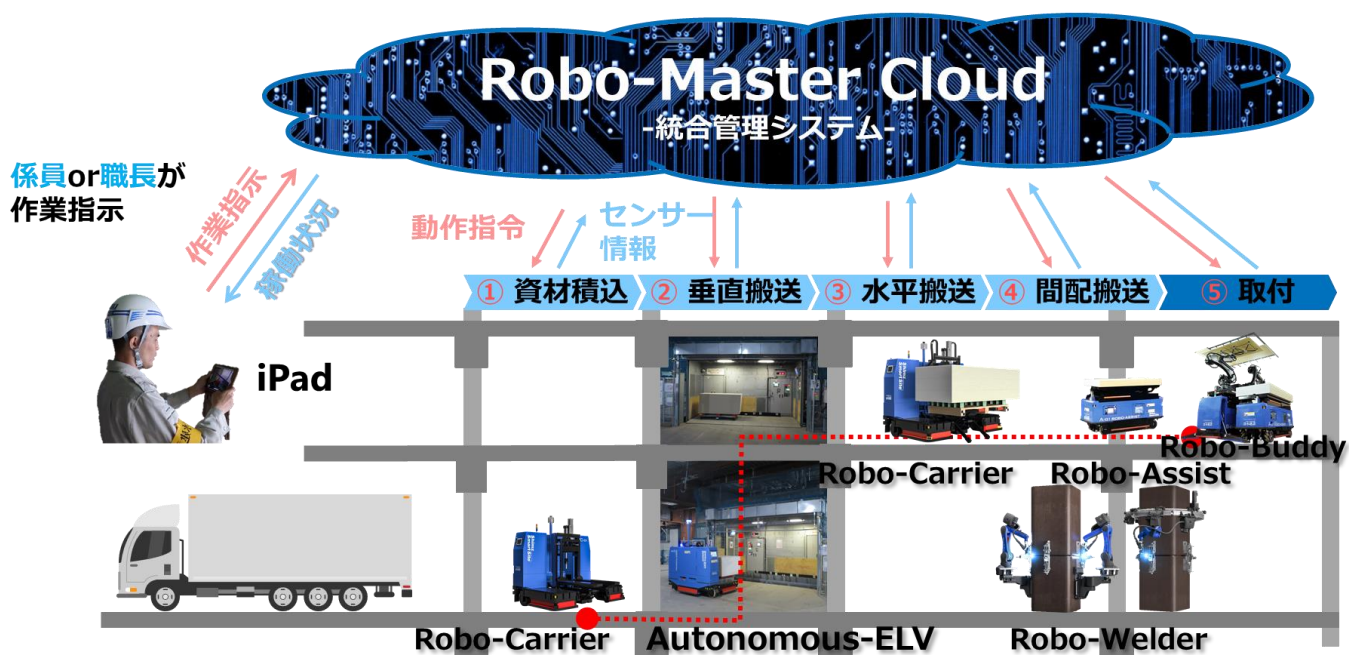


ロボット統合管理システム ROBO-MASTER CLOUD ロボ・マスター・クラウド



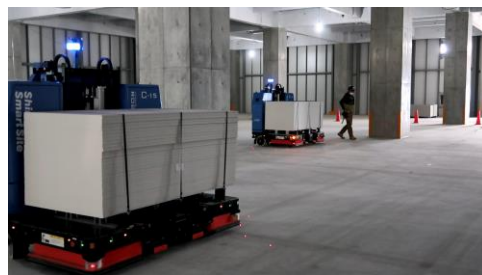
8,000台のロボットを操るマスター

開発の背景

- ・現場内で働くロボット数が増加し、複数台数を同時に操作する必要があると考えられる
- ・人の操作だけでは限界があり、効率の良い複数台制御が求められる
- ・ロボットの一元管理

ロボットの用途、使い方

ロボットの動作を一元的に管理するクラウドです。
タブレットから作業の指示を送ると、最適なロボットが
最適な経路で作業を行います。
ロボ・マスターにつながるアプリは、誰でも操作できる
よう、分りやすいインターフェースで作られています。



複数の資材搬送を管理

ロボット統合管理システム

ROBO-MASTER CLOUD

ロボ・マスター・クラウド

機能

タブレットを操作すれば、マスターが最適な仕事をしてくれる

- ・タブレットで作業の指示をすると、マスターが動作するロボットや手順を予約
- ・最も効率が良い作業手順を設定
- ・複数のロボットを同時に制御し作業を実行

様々な現場で適用を重ねながら機能を改良、ブラッシュアップを続けてきた

導入効果

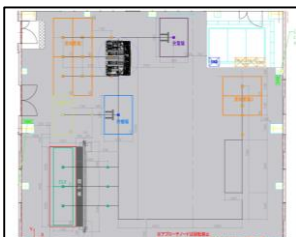
作業指示をすれば、自動で最も効率の良い方法を見つけしてくれる

今後の可能性

- ・他社製ロボットとの協業。
- ・今後も機能のブラッシュアップを続けていく予定です。

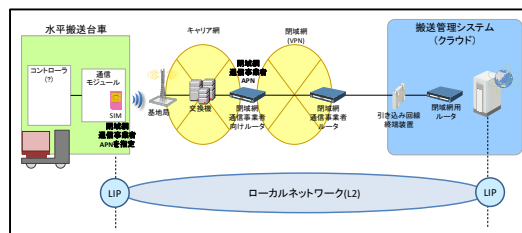
仕様

ルートマップ



統合管理システムは、各階の搬送ルートマップを格納し、計算で最短ルートを求める。

ネットワーク構成



登録された通信装置で構成される閉域網を使用し、統合管理システムからのみ動作指令を送ることで、不正な機器からのアクセスを排除する。

開発元/問い合わせ先

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

清水建設株式会社
建築総本部 生産技術本部 ロボット・ICT開発センター
03-3561-4036